

1. 心の発達

めあて
心はどのように発達するのでしょうか。

組 名 前

番



はじめに

小さいころの自分と今の自分を比べて、下の絵のようなことがありましたか？



ものを取り合っている



ゆずり合っている



席をゆずりたいが
話しかけられない



席をゆずろうと
話しかけている



調べよう

わたしたちの心は、どのように成り立っているのでしょうか。
また、心は体のどこにあるのでしょうか。
※教科書 P8 の「調べよう」の資料を見て、()に合う言葉を書きましょう。

- ◆心のはたらきは、()のはたらきによるもの。
- ◆わたしたちの心は、(), (), ()
などが関わり合って成り立っている。
- ◆心は体と同じように、()とともに()する。



考えよう

心(感情、社会性、思考力など)は、それぞれどのように発達してきたのでしょうか。
小さいころの自分と今の自分を比べて、思い当たることを3つ書きましょう。

	4~5才のころ	5年生のころ(今の自分)
① 感情 		
② 社会性 		
③ 思考力 		

 **考えよう**

わたしたちの心は、どんなことを通して発達してきたのでしょうか。
自分の経験をふり返って、人のかかわりの広がりなどから考えてみよう。

4～5才のころの人とのかかわり		小学校5年生のころ(今)の人とのかかわり	
だれ	どんなこと	だれ	どんなこと
(例) ようち園の友達	公園で遊んだ	(例) 下学年	お世話をした

◎心を発達させてきた経験について、人のかかわりの広がりほかに、思いつくものを書きましょう。

 **まとめよう**

教科書 P11を見て、()に合う言葉を書きましょう。

◆心は、多くの人との関わりや自然とのふれあいなど、

さまざまな()や()を通して発達する。

 **生かそう**

あなたの心がよりよく発達していくために、これからどんなことをしてみたいかを考えて、書いてみましょう。



- 4年生の保健では、思春期になると体の外や中に変化が現れ、それには個人差があると学習しました。**心の発達も体と同じように個人差があります。**相手を理解しようとしたり、自分を理解してもらうようにすることが大切です。
- 心は、失敗や成功をくり返しながら発達していきます。喜びや感動だけでなく、つらいことや苦しいことを経験することも心の発達にはえいきょうがあります。